CUPNOODLES MUSEUM

OSAKA IKEDA

インスタントラーメン発祥の地
大阪池田

1958年（昭和33年）8月25日、

安藤百福（ももふく）は、大阪府池田市の自宅裏庭に建てた小さな小屋で、

ありふれた道具を使って研究を重ね、

世界で初めてのインスタントラーメンである

「チキンラーメン」を生み出しました。

そして、世界に広めるためのカギは

食習慣の壁を越えることにあると気づき、

さまざまな知恵と革新的な発想を結集した「カップヌードル」を発明し、

日本で生まれたインスタントラーメンは

世界食に生まれ変わりました。

「カップヌードルミュージアム」では、

新しい食文化となったインスタントラーメンの歴史を通じて、

発明・発見の大切さを伝えます。

CUPNOODLES MUSEUM

安藤百福翁像
DRAMATIC
ラーメン

「研究小屋」の内部

!!! インスタントラーメンの父

安藤百福　あんどう ももふく　(1910～2007)

1910年3月5日生まれ。
日清食品創業者。
安藤スポーツ・食文化振興財団創設者。
1958年、世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を発明し、インスタントラーメン産業を創出。1971年、世界初のカップめん「カップヌードル」を発明。日清食品の代表取締役社長、会長を務めるとともに、日本即席食品工業協会会長、世界ラーメン協会会長として業界の発展に努めました。1983年、私財を投じて安藤スポーツ・食文化振興財団を設立し、青少年の健全な心身の育成にも力を注ぎました。

!!! Create Foods to Serve Society

食を創り世の為につくす

人生すべてを新しい「食」の創造に捧げた安藤百福。
96年間の生涯を通じて持ち続けたのは、「クリエイティブな発想」と
「最後まであきらめない執念」でした。

第1の発明「チキンラーメン」(1958年)

大阪府池田市の自宅裏庭に建てた小屋で、「お湯があれば、家庭ですぐ食べられるラーメン」の開発を始めた安藤百福。1日平均4時間という短い睡眠時間で丸1年間、1日の休みもなく、たった1人で研究を続けました。さまざまな試行錯誤の末に誕生した「チキンラーメン」は《魔法のラーメン》と評判になり、またたく間に爆発的な人気を集めました。

第2の発明「カップヌードル」(1971年)

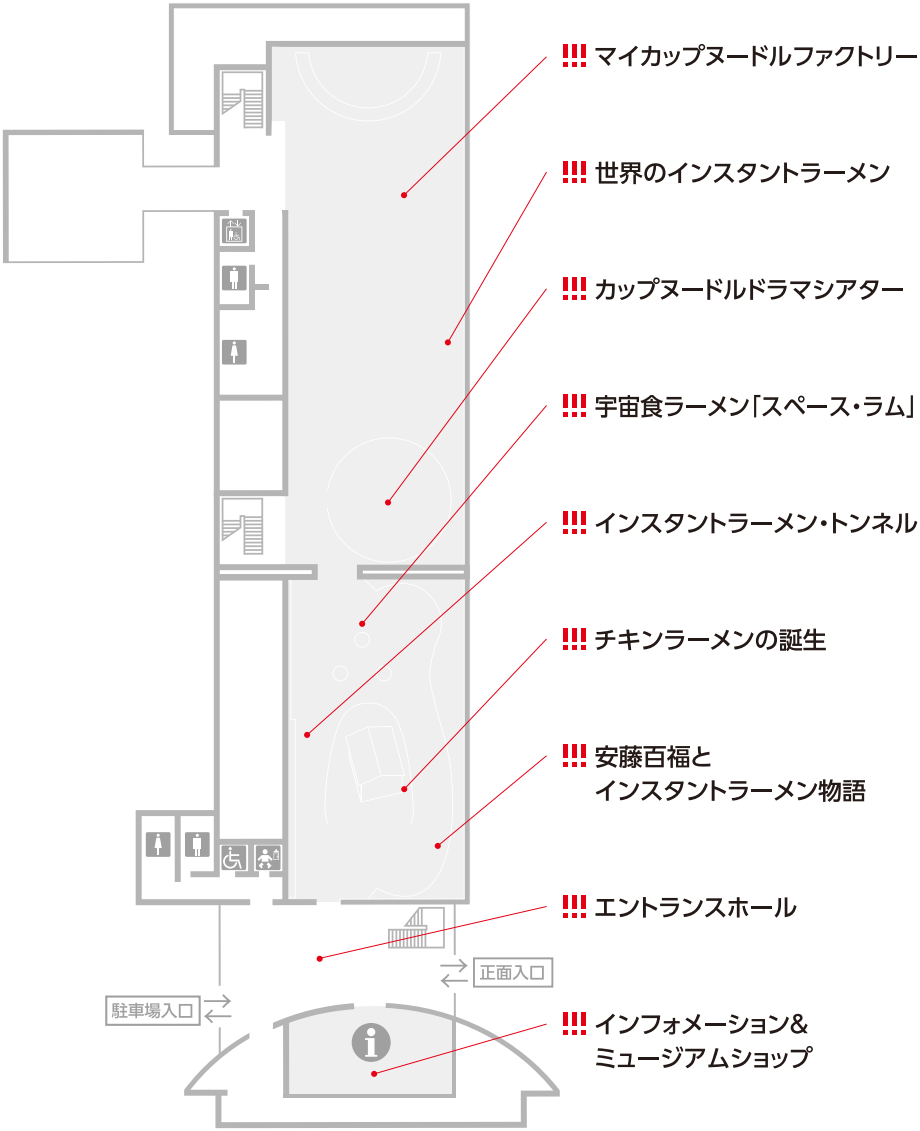
アメリカへ視察に出かけた時のこと。スーパーの担当者たちは、「チキンラーメン」を小さく割ってカップに入れ、お湯を注いでフォークで食べ始めました。インスタントラーメンを世界に広めるためのカギは、食習慣の壁を越えることにあると気づいた安藤百福。さまざまな知恵と革新的な発想を結集した「カップヌードル」が誕生したことにより、日本で生まれたインスタントラーメンが「世界食」に生まれ変わりました。

第3の発明「スペース・ラム」(2005年)

「宇宙食を開発したい」…安藤百福が抱いていた夢の実現にむけて、開発が始まった宇宙食ラーメン「スペース・ラム」。無重力状態で食べるためのさまざまな工夫が加えられた一方で、その基礎となったのは、1958年に自らが発明した技術「瞬間油熱乾燥法」でした。安藤の創造的思考は、時を超えて宇宙空間でも人類の「食」を支えることになったのです。

!!! カップヌードルミュージアム フロアマップ

1階



2階

!!! 安藤スポーツ・食文化振興財団
!!! 安藤百福の軌跡
!!! チキンラーメンファクトリー
エレベーター
女子用トイレ
男子用トイレ
授乳室
多目的トイレ

チキンラーメンの誕生

世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」が誕生した研究小屋を忠実に再現。たとえ特別な設備がなくてもアイデアがあれば、ありふれた道具だけで世界的な発明が生み出せる。そんなメッセージが、この研究小屋に込められています。

安藤百福とインスタントラーメン物語

インスタントラーメンの発明者・安藤百福の足跡と、インスタントラーメンの歴史や変遷、知的財産の大切さなどを、展示室の壁面を使い年代順にグラフィカルに展示しています。

宇宙食ラーメン「スペース・ラム」

世界初の宇宙食ラーメン「スペース・ラム」の実物や、宇宙を旅した安藤百福年頭定是「宇宙世紀優劣共生」の色紙を展示。宇宙食ラーメンにまつわる開発ストーリーを紹介しています。

カップヌードルドラマシアター

カップヌードル型の体感シアター。「カップヌードル」の発明にいたるひらめきのエピソードや製造工程などを迫力ある大型映像で紹介しています。

世界のインスタントラーメン

全世界で年間約1,200億食も消費されるインスタントラーメンの世界的な広がりを、各国の年間消費量と世界のカップヌードルのパッケージの展示で表現しています。

安藤百福の軌跡

インスタントラーメンを発明し、世界の食文化を変えた安藤百福が残した「語録」や、一年の計を元旦に定め毛筆でしたためた「年頭所感」とともに、数々の勲章・表彰状や、愛用していた品々を展示し、安藤百福の足跡を紹介しています。

インスタントラーメン・トンネル

「チキンラーメン」から始まるインスタントラーメンのラインナップを展示。1958年にたったひとつの商品から始まったインスタントラーメンが発展していく様子を、約800種類のパッケージで表現しています。

ミュージアムショップ

「カップヌードルミュージアム」のオリジナルグッズや「ひよこちゃん」のキャラクターグッズなどを販売するショップ。安藤百福やインスタントラーメンに関する書籍もご用意しています。

!!! マイカップヌードルファクトリー

世界でひとつだけのオリジナル「カップヌードル」を作ることができます。自分でデザインしたカップに、4種類の中からお好みのスープと、12種類の中から4つのトッピング具材を選ぶことができます。味の組み合わせは、合計5,460通りです。

【実施時間】 9:30〜16:30(最終受付15:30)　**【ご利用料金】** 1食 500円 (消費税込)

※予約不要ですが、混雑時には待ち時間が発生します。　※ご希望者多数の場合は、受付を早めに終了することがあります。
※小、中、高等学校の学校教育で利用の場合は無料となります。

さあ、世界にひとつだけのマイカップヌードルを作ってみよう!

❶ 自動販売機で専用カップを買います	❷ アルコールで手を消毒します	❸ カップをデザインします
❹ めんをセットします	❺ スープ・具材を選びます	❻ カップにフタをします
❼ シュリンク包装をします	❽ エアパッケージに空気を入れます	❾ マイカップヌードルの完成です!

※⑥⑦の工程はスタッフが行います。

!!! チキンラーメンファクトリー

小麦粉をこね、のばし、蒸したあとに味付けし「瞬間油熱乾燥法」で乾燥させるまでの工程を通じて、「チキンラーメン」を手作りすることができます。世界初のインスタントラーメンが生み出された発明の原点を体験したあとは、作りたてのおいしさをご家庭でお楽しみください。

【スケジュール】 1日5回・各回70分

[1] 9:40 [2] 10:50 [3] 12:00 [4] 14:00 [5] 15:10

【定員・対象】 各回48名・小学生以上

【ご利用料金】

小学生 600円 / 中学生以上 1,200円 (消費税込)

参加者全員に「ひよこちゃんバンダナ」のお土産が付きます。

※小、中、高等学校の学校教育で利用の場合は無料となります。
実施の1年前より予約専用ダイヤルにて受け付けます。

注意事項

・未就学児は体験できません。

・作業はペアで行います。なお小学生1・2・3年生は中学生以上の方とペアで体験してください。

・開始時間の10分前までに1階インフォメーションで受付をお済ませください。遅れた場合は自動的にキャンセルさせていただきます。

・参加者以外は、会場内に入ることができません。

【お申し込み】

○事前予約

・体験希望日の3ヶ月前の同日午前10時よりインターネット又は予約専用ダイヤルにて予約を受け付けます。

※団体(21名以上)の予約は、電話のみでの受け付けとなります。

・各回の定員に達し次第、予約の受け付けは終了します。

・2人1組のペアで体験していただきますので、できるだけ偶数人数でお申し込みください。

・1名でのお申し込みはできません。

インターネット (24時間受付)
http://www.cupnoodles-museum.jp/

予約専用ダイヤル
(10:00〜16:30、休館日を除く)
072-751-0825

公益財団法人
安藤スポーツ・食文化振興財団

安藤スポーツ・食文化振興財団　http://www.ando-zaidan.jp

安藤スポーツ・食文化振興財団は、日清食品の創業者である安藤百福が、青少年の健全な心身の育成のためにはスポーツの振興が欠かせないと考え、1983年に私財を投じて設立しました。以来、「食とスポーツは健康を支える両輪である」という理念のもとに、以下の5つの公益事業を行っています。

1.スポーツ支援事業

「食とスポーツは健康を支える両輪である」という理念のもと、スポーツを幅広く支援しています。「走ることはあらゆるスポーツの原点」という日本陸上競技連盟の考えに賛同し、「小学生陸上競技交流大会」を1985年の第1回大会から支援を続けています。また、日本バスケットボール協会主催のU18リーグ戦や、日本テニス協会の主催する「安藤財団グローバルチャレンジJr.テニス」の後援など、日本オリンピック委員会に加盟している各競技団体を通じて、ジュニアアスリート育成を支援しています。

2. 自然体験活動

「自然とのふれあいが子どもたちの創造力を豊かにする」という創設者の思いを受け継ぎ、子どもたちの「創造力」や「自活力」を育む自然体験活動の普及に取り組んでいます。全国の学校や団体が企画した自然体験活動を支援・表彰する「安藤財団 自然体験コンテスト」を2002年から実施しています。また、アウトドア活動の活性化を目的として開設した「安藤百福記念 アウトドア アクティビティセンター」(長野県小諸市) では、「歩く文化」の醸成を図るため、日本ロングトレイル協会が提唱する「JAPAN TRAIL」構想を支援しています。

3. 食文化活動

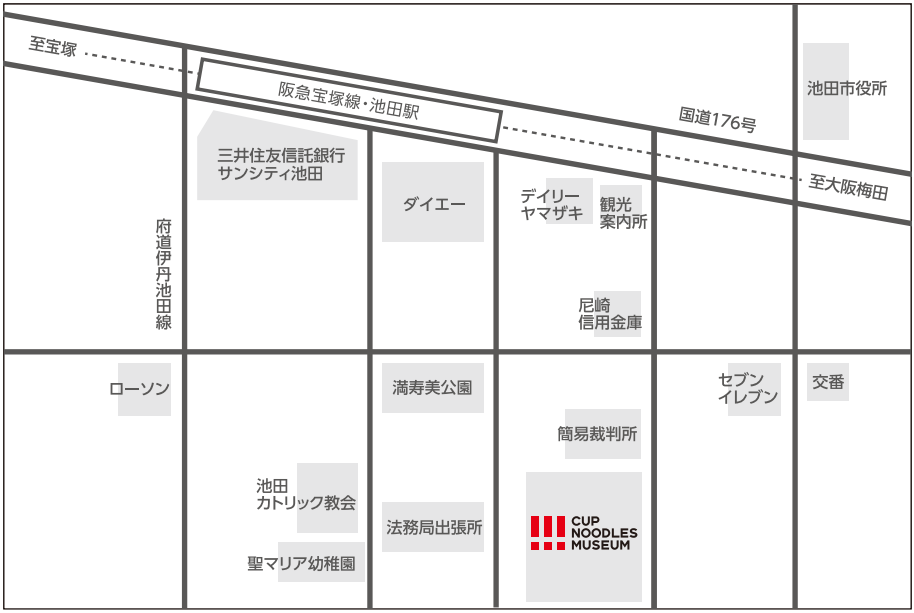
1996年に設立された「食創会」では、安藤百福の「食創為世(食を創り世の為につくす)」の理念に基づき、新しい食品の創造に繋がる独創的な基礎研究や食品開発、ベンチャー事業を奨励し、毎年、優れた食品の研究開発者や起業家を表彰する「安藤百福賞」表彰事業を実施しています。

4. 発明記念館の運営

1999年、インスタントラーメン発祥の地・大阪府池田市に、2011年には横浜市みなとみらいに、体験型食育ミュージアム「安藤百福発明記念館(愛称:カップヌードルミュージアム)」を開館し、インスタントラーメンの歴史を通じて、「発明・発見の大切さ」や「クリエイティブシンキング=創造的思考」など世界の食文化に革新をもたらした安藤百福の思いや考えを伝えています。

5. 社会福祉事業「ヤングケアラー支援」

社会的な課題にもなっているヤングケアラーの大きな負担の一つである食事面を支援することで、家事負担を軽減し、日々の学習や友人との交流など青少年期に本来必要な環境づくりに貢献します。地方自治体や支援団体と連携することで、新たなヤングケアラーの把握や必要な行政支援に結びつけることを目指しています。



電車でご来館の方

阪急電車宝塚線「池田駅」下車
（阪急大阪梅田駅から急行で約20分）
満寿美町方面出口より徒歩約5分

開館時間

9:30～16:30（入館は15:30まで）

休館日

火曜日（祝日の場合は翌日が休館）
年末年始

ウェブサイト

http://www.cupnoodles-museum.jp/

入館料

無料（体験は有料）

駐車場

台数：23台

料金：20分毎に300円

ご利用時間：8:30～17:00

※当館ならびに周辺の有料駐車場は満車になることが多いため、公共交通機関のご利用をお勧めします。
※17:00以降の出庫はできませんのでご注意ください。
※休館日の駐車場のご利用はできません。

[名称] カップヌードルミュージアム 大阪池田 (正式名称：安藤百福発明記念館 大阪池田) [住所] 〒563-0041 大阪府池田市満寿美町 8-25 [総合案内ダイヤル] 072-752-3484(受付時間 9:00～16:30 休館日を除く) [予約専用ダイヤル] 072-751-0825 (受付時間 10:00～16:30 休館日を除く)

20260131

安藤百福発明記念館